

事例9

<事例概要>

処方時に間違いがあり過少投与に至った

プレドニゾン錠 1 mg (プレドニゾン) : 副腎皮質ステロイド

- ・ 80 歳代、間質性肺炎
- ・ 持参薬のプレドニゾン散 1% 1.2 g /日を継続処方する際、院内採用薬に切り換え、プレドニゾン (1 mg) 1.25 錠/日と処方した。処方監査で持参薬と用量が異なることに気がつき、病棟薬剤師宛に書面で知らせたが、確認・修正されないまま数日後に処方通りに調剤し、看護師が内服薬を投与した。
- ・ 投与開始約 1 週間後、処方薬の確認をしていた薬剤師より過少投与を医師に報告。ステロイドパルス療法を開始したが、約 2 週間後に死亡。
- ・ 死因は、間質性肺炎の急性増悪。死亡時画像診断 (Ai) 有、解剖有。